



安全哲学の再確立！パワハラによる労災申請を認めない異常な経営体質を許さない！ 宇都宮運輸区分会と共にたたかう決起集会

参加者全員で取り組んだ撤布を
宇都宮運輸区分会へ手渡しました！



2月17日(土)、第44回定期地方委員会終了後、「安全哲学の再確立！パワハラによる労災申請を認めない異常な経営体質を許さない！宇都宮運輸区分会と共にたたかう決起集会」を開催しました。

集会では、宇都宮運輸区分会と宇都宮支部の仲間から「宇都宮運輸区分会で発生した懲罰的日勤教育とパワハラ労災申請」のたたかいについて報告を受け、その後、意見交換を行いました。

報告の中で、事象を発生させてしまった当該運転士も反省し、乗務復帰に向けて再教育を受けていた。しかし、日勤教育は原因究明とは関係のない作業の繰り返して先の見えない長期の日勤教育が行われた。面談の中で「一回、運転士をクビになった状態なのだから、強い気持ちで押し返して欲しかったのに、その甘えた気持ちにガッカリした」など、当該運転士を精神的に追い込み、苦しめて、うつ病と診断され、職場復帰はできていない。また、ハラスメントが原因で就業ができなくなったことから、パワハラ労災申請のため事業証明の記載を会社に求めたところ、証明を拒否された。しかし、本人と家族の生活を守るため労基署にパワハラ労災申請を行った。パワハラ労災を認めない会社経営姿勢を許さず、責任追及ではなく職場から安全風土の再確立をつくりだし、仲間と家族をしっかり支えていくことが語られました。最後に参加者全員で会社による強権的な支配体制を許さず、たたかっていくことを確認しました。

第二の福知山線脱線事故を起こさないため、
懲罰的日勤教育・パワハラを許さず、安全で
安心して働ける職場をつくり出していこう！